

**(注意) この PDF ファイルを印刷して出願に用いることはできません。**

募集要項および過去3年間の試験問題の請求方法は「窓口での請求」または「郵送による請求」となります。  
出願を希望する方は、必ず募集要項の冊子入手し、綴じ込みの所定用紙を用いてください。

○ 窓口での請求

府中地区事務部学生支援室入学試験係（農学部本館1F）の窓口にて配布します。ご自由にお持ちください（土日、祝日を除く8:30～17:15まで）

○ 郵送による請求

1. 学生募集要項のみの請求

封筒の表面に「農学府博士課程学生募集要項請求」と朱書きの上、以下を同封して請求してください。

- 郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入したメモ
- 定形外郵便物規格内250g分の切手を貼った返信用封筒（角2号・A4サイズ）

2. 学生募集要項と過去3年間の試験問題のコピー

封筒の表面に「農学府博士課程学生募集要項および試験問題コピー請求」と朱書きの上、以下を同封して請求してください。

- 郵便番号、住所、氏名、電話番号、志望専攻名を記入したメモ
- 定形外郵便物規格内500g分の切手を貼った返信用封筒（角2号・A4サイズ）

3. 過去3年間の試験問題のコピー

封筒の表面に「農学府博士課程試験問題コピー請求」と朱書きの上、以下を同封して請求してください。

- 郵便番号、住所、氏名、電話番号、志望専攻名を記入したメモ
- 定形外郵便物規格内150g分の切手を貼った返信用封筒（角2号・A4サイズ）

◆ 速達を希望する場合は速達料金を追加してください。

◆ 返信用封筒の表面に返信先の郵便番号、住所、氏名を記載してください。

◆ 切手不足の場合、請求の受領、請求物を送付することができません。十分に注意してください。

○ 過去3年間の試験問題のコピーについて

著作権処理の関係上、著作権に係る箇所を空白にして公開しています。

以下のページで閲覧可能です。

<https://web.tuat.ac.jp/~akakomon/nougakuhu/index.html>

【請求先および問い合わせ先】

〒183-8509

東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学 府中地区事務部学生支援室入学試験係

TEL: 042-367-5659（土日、祝日を除く9:00～17:00まで）

# 重 要

本要項に記載した情報は令和 8 年（2026 年）4 月時点の内容です。

本要項の公開後であっても、選抜方法や日程に変更が生じる可能性があります。

出願にあたっては、必ず本学ホームページにて最新の情報を確認してください。

【本学ホームページ「重要なお知らせ」URL 及び QR コード】

[https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_daigakuin/info/](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/info/)





## 大学院（博士課程）共同獣医学専攻アドミッション・ポリシー

### 1. 人材育成目的

共同獣医学専攻では、共同獣医学科で掲げた理念を更に深化し、動物基礎医学を基盤とした革新的な発想を持ち、獣医衛生科学分野及び獣医臨床医科学分野を先導する研究リーダーを育成することを目的としている。

### 2. 入学者に求める資質

#### ① 知識・技能・理解

- ・専攻する獣医学及び動物科学に関して十分な基礎学力並びに技術を有している者

#### ② 思考力・判断力・表現力

- ・研究活動に必要な英語力とコミュニケーション能力を備えている者

#### ③ 関心・意欲

- ・研究課題に積極的に取り組む意欲と探究心を持ち合わせている者
- ・研究倫理及び獣医倫理に関して深い関心を有している者

#### ④ 主体性・協働性

- ・幅広い視野に立ち創造性豊かな研究を展開する実行力に満ちた者

### 3. 入学前に修得しておくことを期待する内容

大学院において専門的な学術研究に従事していくため、獣医学に関する基礎的な知識を修得していること。

## 1 募集人員

| 専攻      | 選抜区分       | 募集人員                   |
|---------|------------|------------------------|
| 共同獣医学専攻 | 一般入試       | 10名（外国人留学生特別入試の若干名を含む） |
|         | 外国人留学生特別入試 |                        |

## 2 出願資格

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

※「外国人留学生特別入試」に出願できるのは、日本国外に在住する日本国籍を有しない者で、かつ、日本の出入国管理及び難民認定法において大学院の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者です。日本国内在住の外国人志願者は、一般入試を受験してください。

- (1) 大学における修業年限6年の獣医学を履修する課程を卒業した者及び入学する月の前までに卒業見込みの者
- (2) 大学における医学、歯学又は修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者及び入学する月の前までに卒業見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学）を修了した者及び入学する月の前までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学）を修了した者及び入学する前の月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学）を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学する前の月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大

臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が5年以上である獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学する月の前までに授与される見込みの者  
 ※出願資格の(6)に該当する者は、6月15日(月)までに府中地区事務部学生支援室入学試験係へ必ず申し出てください。

- (7) 文部科学大臣が指定した者(昭和30年文部省告示第39号に該当する者)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本専攻が認めたもの
- (9) 本学大学院において個別の資格審査により、大学(医学、歯学、修業年限の6年の獣医学又は薬学を履修する課程)を卒業した者と同等以上の学力があると本専攻が認めた者で、入学する月の前までに24歳に達する者

### 3 出願手続

#### (1) 出願方法

志願者は(4)の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。なお、郵送する際は**必ず簡易書留**とし、封筒の表に「大学院農学府共同獣医学専攻出願書類在中」と朱書きしてください。

また、日本国外から出願する場合は、必ず国際スピード郵便(EMS)で郵送してください。

#### (2) 出願書類等提出先：東京農工大学府中地区事務部学生支援室入学試験係

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 TEL 042-367-5659

#### (3) 出願受付期間

##### ① 一般入試

窓口受付期間：2026年7月22日(水)～7月24日(金)

受付時間：7月22日(水)・23日(木)は午前10時～正午、午後1時30分～午後4時まで

7月24日(金)は午前10時～正午、午後1時30分～午後3時まで

郵送受付期間：2026年7月6日(月)～7月24日(金)午後3時必着

(出願期間後に本学に到着した場合でも2026年7月22日(水)以前の日本国内発信局消印のある**簡易書留**の郵便に限り受理します。)

##### ② 外国人留学生特別入試

郵送受付期間：2026年7月6日(月)～7月24日(金)午後3時必着

#### (4) 出願書類等

| 書類等の名称  | 提出該当者 | 摘要   |
|---------|-------|--|
| 入学志願票   | 全員    | 本学所定の用紙を使用してください。  |
| 写真票・受験票 | 全員    | 本学所定の写真票に、写真(縦4.5cm×横3.5cm上半身、無帽正面、出願前3ヶ月以内に撮影)を貼ってください。太線枠内に記入してください。画像加工・画像処理により、目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわなどを修正するなどして、本人のイメージを変えることは、いかなる場合でも不適当です。 |

|                                |                   |  |
|--------------------------------|-------------------|--|
| 入学検定料<br>納入確認票                 | 全<br>員            | 入学検定料 30,000 円：本学所定の入学検定料払込用紙を用いて、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払込（ATM は使用不可）のうえ、受付局日附印が押された振替払込受付証明書「大学提出用」を入学料検定納入確認票の所定の位置に貼り付けてください。<br>ただし、本学大学院の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き進学する者は納入不要です。<br>また、日本国政府から奨学金が支給されている国費の外国人志願者は、検定料を徴取しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。（ただし、本学在籍者は不要です。）                     |
| 成績証明書                          | 全<br>員            | 出身大学長（出身学校長）が作成し、厳封したもの。ただし、出身学校の証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。<br>大学院の課程を修了した（修了見込み含む）志願者は、学部及び大学院の成績証明書も併せて提出してください。証明書が外国語（英語を除く）で書かれている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。<br>※外国人留学生特別入試に出願する者は、GPA が記載されたものを提出してください。ただし、出身大学が GPA を算出していない場合は記載不要です。   |
| 卒業（修了）証明書<br>又は卒業（修了）<br>見込証明書 | 全<br>員            | 出身大学（出身学校）所定のもの。<br>大学院の課程を修了した（修了見込み含む）志願者は、学部及び大学院の修了（見込）証明書も併せて提出してください。証明書が外国語（英語を除く）で書かれている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。  |
| 履 歴 書                          | 全<br>員            | 本学所定の用紙を使用してください。  |
| 卒業論文（又は修<br>士論文）等の概要           | 全<br>員            | A4 判の用紙を使用して和文の場合は、2,000 字程度、英文の場合は、1,200 語程度で記載し、表紙をつけて提出してください。ただし、卒業論文を課されていない者については、職場等におけるこれまでの研究経過報告書を提出してください。なお、これらのいずれも提出することが不可能な者は、本専攻を出願するに至った経緯を和文の場合は、1,000 字以内、英文の場合は 600 語以内にまとめて提出してください。<br>※外国人留学生特別入試に出願する者は英文で記載してください（和文不可）。また、出願するに至った経緯を提出する場合は、英文 1,000 語以内で作成してください。 |
| 研究計画書                          | 全<br>員            | 本学所定の用紙を使用して和文の場合は、1,000 字程度、英文の場合は、500 語程度で入学後に希望する研究内容を具体的に記載してください。<br>※外国人留学生特別入試に出願する者は英文 1,000 語以内で作成してください。（和文不可）   |
| 研究歴証明書                         | 外国人留学生特別<br>入試志願者 | 本学所定の用紙を使用してください。<br>※個別の出願資格審査を受ける者は、出願資格審査の提出書類「研究歴証明書」と同じものですので、合わせて1部の提出で構いません。  |
| 研究業績書                          | 外国人留学生特別<br>入試志願者 | A4 判の用紙を使用し、英文 1,000 語程度で、これまでの研究業績内容の要約（目的、材料と方法、結果、考察（結論）を含む。）を記載し、表紙をつけて提出してください。なお、研究業績が卒業論文・修士論文のみの場合は、提出は不要です。<br>※個別の出願資格審査を受ける者は、出願資格審査の提出書類「研究業績書」と同じものですので、合わせて1部の提出で構いません。  |
| 推 薦 書                          | 外国人留学生特別<br>入試志願者 | 出身大学の指導教員等が作成し、厳封したもの。原則として英文で作成してください。ただし、英文以外で作成された場合は、英語訳を添付してください。   |
| 受験許可書                          | 在職している者           | 所属長又は代表者による受験許可書を提出してください。   |

|  |                       |   |
|--|-----------------------|---|
| TOEIC の公式認定証、TOEFL の受験者用スコア票又は実用英語技能検定の合格証明書 | 一般入試志願者のうちの外国語試験免除希望者 | 外国語試験の免除〔免除基準は5選抜方法1〕一般入試を参照〕を希望する者は、入学試験日から遡って2年以内に受験した試験の証明書の原本※を提出してください。<br>※TOEICの場合は証明書(紙)の原本またはDigital Official Score Certificate (デジタル公式認定証)を印刷したものを、<br>※TOEFL-iBTの紙のスコアレポートを提出しない場合は、受験申込時に指定コードG262を選択してください。ETSのオンラインシステムから本学が確認することになります。なお、7月24日15時(出願期限)までに本学が確認できない場合は出願を受け付けません。 |
| その他  | 全 員                   | ①外国人志願者は、「パスポートのコピー」と「在留カードのコピー」(国内居住者のみ)を必ず提出してください。<br>②証明書の氏名と現在の氏名が異なっている場合には、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)を提出してください。  |
| 宛 名 票  | 一般入試志願者               | 本学所定の用紙を使用してください。   |
| 受験票返送用封筒                                     | 一般入試志願者(郵送出願者のみ)      | 定形封筒(長形3号12cm×23.5cm)に返送先の住所、氏名を明記し410円分の切手を貼りつけたものを同封してください。   |

※証明書等が外国語(英語を除く)で書かれている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

(5) 志望教育研究分野・志望する研究主指導教員について

9～10ページを参照し、志望する指導教員に連絡し、事前に承諾を得てください。

教育研究分野の詳細や教員の連絡先は、本学ホームページを参照してください。

・農学府：[https://www.tuat.ac.jp/department/graduate\\_school/nougakuhu/](https://www.tuat.ac.jp/department/graduate_school/nougakuhu/)

・研究者情報検索：<https://www.tuat.ac.jp/research/researcher/>

(6) 出願書類等提出上の注意

① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても記載事項の変更は認めません。また、出願書類等は返還しません。

② 出願書類等に不備のあるものは受理しませんので、注意してください。

③ 出願をする際は、必ず指導を希望する教員に承諾を得てください。

④ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。

⑤ 出願書類に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

⑥ 検定料の払い戻しはしません。

#### 4 個別の出願資格審査

出願資格(8)、(9)で出願する者は、次のとおり事前審査を行います。

(1) 審査方法

提出された書類で審査を行います。ただし、必要に応じて面接を行う場合があります。

(2) 提出書類

| 書類の名称     | 摘 要   |
|-----------|---|
| 出願資格認定申請書 | 本学所定の用紙を使用してください。   |
| 成績証明書     | 出身大学長(出身学校長)が作成し、厳封したもの。ただし、出身学校の証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。大学院の課程を修了した(修了見込み含む)志願者は、学部及び大学院の成績証明書も併せて提出してください。証明書が外国語(英語を除く)で書かれている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。 |
| 履 歴 書     | 本学所定の用紙を使用してください。   |
| 研 究 計 画 書 | 本学所定の用紙を使用して和文の場合は、1,000字程度、英文の場合は、500語程度で入学後に希望する研究内容を具体的に記載してください。<br>※外国人留学生特別入試に出願する者は英文1,000語以内で作成してください。(和文不可)  |

|        |   |
|--------|---|
| 研究歴証明書 | 本学所定の用紙を使用してください。   |
| 研究業績書  | A4判の用紙を使用して和文の場合は、1,000字程度、英文の場合は600語程度でこれまでの研究業績内容の要約（目的、材料と方法、結果、考察（結論）を含む。）を記載し、表紙をつけて提出してください。なお、これを提出することが不可能な者は、本専攻に出願するに至った経緯を和文の場合は1,000字以内、英文の場合は600語以内にまとめて提出してください。<br>※外国人留学生特別入試に出願する者は、英文1,000語以内で作成してください（和文不可）。 |
| 研究成果資料 | 研究業績書の内容を裏付けする研究論文及びその他の研究業績を示す資料があれば添付すること。  |
| 返信用封筒  | 住所、氏名及び郵便番号を明記し、410円切手を貼付した定型封筒（長形3号12cm×23.5cm）  |

※証明書等が外国語（英語を除く）で書かれている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

### (3) 提出期間等

#### ① 提出期間

窓口受付期間：2026年6月17日（水）～6月24日（水）午後3時まで

郵送受付期間：2026年6月17日（水）～6月24日（水）午後3時まで【必着】

#### ② 提出先：東京農工大学 府中地区事務部学生支援室入学試験係

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 TEL 042-367-5659

※郵送する際は必ず**簡易書留**とし、封筒の表に「大学院農学府共同獣医学専攻出願資格認定申請書類在中」と朱書きしてください。

※日本国外から出願する者は、必ず国際スピード郵便（EMS）で郵送してください。

返信用封筒は不要です。

### (4) 結果通知

審査結果は、2026年7月10日（金）までに本人あてに通知します。

出願資格の認定を受けた者は、出願書類受付期間に出願資格を認定した通知文書のコピーを添付して出願手続きを行ってください。

## 5 選抜方法

### 1) 一般入試

(1) 学力検査及び書類審査の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査

#### ① 筆記試験

○外国語：英語

以下のいずれかに該当する者は、外国語試験を免除します。外国語試験の免除を希望する者は、それを証明する書類（3出願手続(4)出願書類等を参照）を出願時に提出してください。

- ・ TOEIC Listening & Reading Test（公開テスト）スコア 800 点以上
- ・ TOEFL iBT スコア 90 点以上（MyBest スコアも使用可能）
- ・ 実用英語技能検定 1 級

注) ただし、TOEIC Listening & Reading Test（公開テスト）及び TOEFL iBT は、入学試験日から遡って2年以内に受験したものに限りです。

注) TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL iBT Special Home Edition のスコアシートの提出は認めません。

○専門科目：出願した教育研究分野の専門試験科目

## ② 口頭試問

卒業論文（又は修士論文）、研究計画書等の内容を中心に行います。口頭試問の時間は1人につき30分程度とします。最初の10分は志願者の卒業論文（又は修士論文）、研究計画書等の説明に当て、その後質疑応答を行います。

※液晶プロジェクターを用いてのプレゼンテーションを行って頂きます。（パソコンは持参可）

## (3) 試験の日時、場所

| 実施日           | 試験科目 |      | 試験時間        | 場所                |
|---------------|------|------|-------------|-------------------|
| 2026年8月27日（木） | 筆記試験 | 外国語  | 9：30～11：00  | 東京農工大学<br>府中キャンパス |
|               |      | 専門科目 | 11：30～12：30 |                   |
|               | 口頭試問 |      | 13：30～      |                   |

※試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、口頭試問以外は試験時間の延長は行いません。

## 2) 外国人留学生特別入試

(1) 学力検査及び書類審査の結果を総合して判定します。ただし、学力検査は書類審査の合格者に行います。

(2) 試験の内容、日時等

### ① 書類審査

提出された出願書類で審査を行います。審査の結果は受験者全員へ以下の期日までに通知します。また、合格者へは受験票を送付するとともに、学力検査（口頭試問）の日時をお知らせします。

書類審査結果通知期日：2026年8月6日（木）まで

### ② 学力検査（口頭試問）

書類審査の合格者に対し、スカイプ等を用いて受験者の自宅、所属大学、勤務先等と東京農工大学を繋いで口頭試問を行います。使用言語は日本語又は英語とし、時間は30分程度とします。

最初の20分で、過去の研究の概略と研究計画を、パワーポイント等のプレゼンテーション用資料を用いて説明してください。その後質疑応答を行います。

実施日は以下の期間のうちの指定する1日とし、詳しい日時は受験票を送付する際に通知します。

口頭試問実施期間：2026年8月17日（月）～8月21日（金）

## 6 合格発表

2026年9月11日（金）午前10時、東京農工大学大学院農学府ホームページ ([https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_daigakuin/goukaku\\_daigakuin/](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/goukaku_daigakuin/)) に3日間掲載します。

また、合格者には合格通知を本人に郵送します。なお、合否の問い合わせには一切応じません。

## 7 入学手続き等の概要

(1) 入学手続きの日時

2026年10月入学者：2026年9月17日（木）

2027年4月入学者：2027年3月15日（月）

入学手続き方法等の詳細については、2026年10月入学者には9月上旬頃、2027年4月入学者には2027年1月下旬頃に本人に郵送します。

(2) 入学に要する費用等

入学料：282,000円

※以下に該当する者は、入学料を徴収しません。

- ・本学大学院の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き進学する者

- ・日本国政府から奨学金が支給されている国費外国人留学生

授業料：年額 642,960 円

※以下に該当する者は、授業料を徴収しません。

- ・日本国政府から奨学金が支給されている国費外国人留学生

注) 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

## 8 個人情報の取り扱い

出願書類に記載されている氏名、性別、住所その他の個人情報（入試成績に関する情報を含む）は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づき、本学において、入試の実施・入学手続、入学者の受入準備、奨学金等の制度の運用、統計資料等の作成及び入試に関する調査・研究に利用します。

また、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、本人又は第三者の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合に限り、提供することがあります。

- (1) 本人の同意があるとき、又は本人に提供するとき。
- (2) 行政機関（行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律第2条第1項に規定する行政機関）、他の独立行政法人等、地方公共団体又は地方独立行政法人に提供する場合において、提供を受ける者が、法令の定める事務又は業務の遂行に必要な限度で提供に係る個人情報を利用し、かつ、利用について相当な理由のあるとき。
- (3) 統計の作成又は学術研究の目的のために他の機関に提供するとき。
- (4) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合、個人情報の提供が必要なとき。

（なお、この場合には、個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上契約します。）

## 9 障がい等を有する入学志願者との事前相談

障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、「事前相談について」（本学所定）を提出してください。

なお、必要により本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う場合があります。

- (1) 提出先：東京農工大学府中地区学生支援室入学試験係  
〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 TEL 042-367-5659
- (2) 受付期間：2026年7月6日（月）から7月10日（金）までに【必着】

## 10 安全保障輸出管理について

東京農工大学では、日本国で定められた「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

## 11 長期履修制度

本専攻では、職業を有しているなどの事情（注1）によって、標準修業年限である4年を超えて、一定の期間（最長8年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、標準修業年限（4年）で修了する学生が納める授業料総額と同

額となります。

なお、この制度の申請方法は、合格者に別途通知します。

注1) 該当者: ① 職業を有している者(非常勤の職にある者は、週30時間以上勤務していること)

② その他、学長が認めた者

(詳細については、府中地区学生支援室入学試験係にまで問い合わせてください。)

注2) 長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

## 12 試験問題の公表について

過去3年間の試験問題を公開しています。詳細は本学ホームページ

([https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_daigakuin/seikyū/nougakuhu.html](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/seikyū/nougakuhu.html))にてご確認ください。

## 13 入学者選抜の情報公開に関する問い合わせ先

入学者選抜に関しては東京農工大学府中地区事務部学生支援室入学試験係までお問い合わせください。

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 TEL 042-367-5659

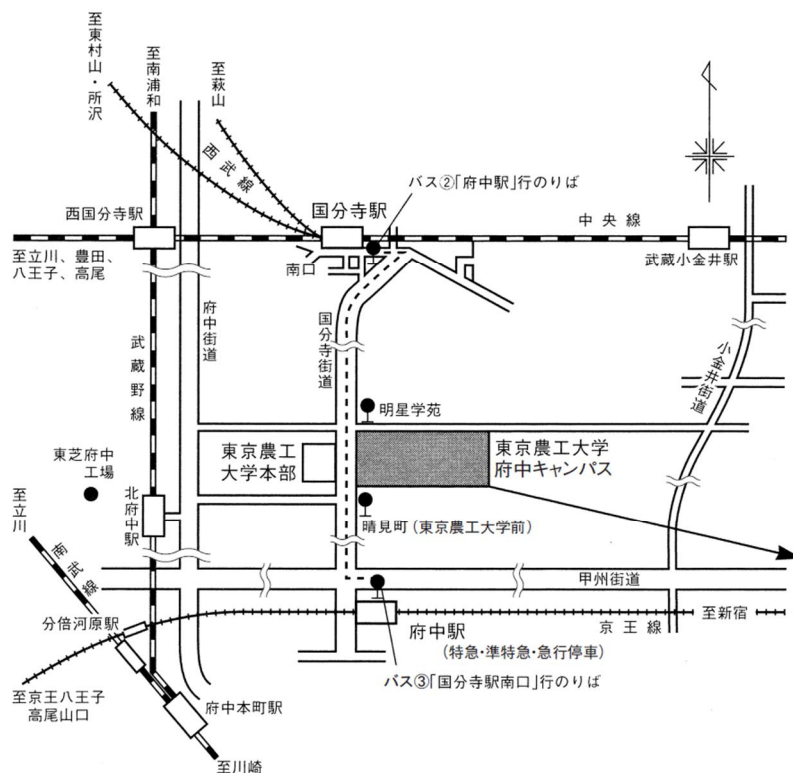
## 14 問い合わせ先

東京農工大学府中地区学生支援室入学試験係

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 TEL 042-367-5659

土・日・祝日を除く 午前9時～午後5時

## 15 交通案内



### 中央線

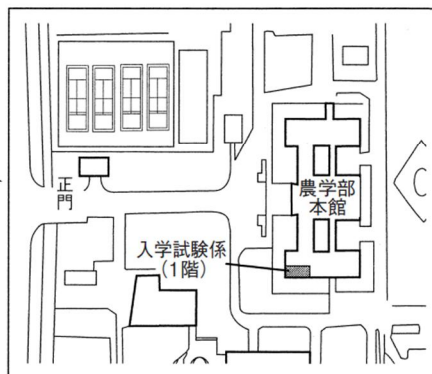
国分寺駅南口から(バス停2番乗場)府中駅行き(明星学苑経由)バスにて約10分、晴見町(東京農工大学前)下車

### 京王線

府中駅から(バス停3番乗場)国分寺駅南口行き(明星学苑経由)バスにて約7分、晴見町(東京農工大学前)下車

### 武蔵野線

北府中駅下車 徒歩約12分



教員の専門分野、研究内容

| 講 座    | 教育・研究分野 | 教員名                 | 専門分野      | 研究内容  |
|--------|---------|---------------------|-----------|---|
| 動物基礎医学 | 形態機能学   | 佐藤 俊幸 <sup>*1</sup> | 行動生物学     | 動物の行動の適応的意義とメカニズムに関する研究                           |
|        |         | 金田 正弘               | エピゲノム生物学  | エピジェネティクス変化による哺乳類の遺伝子発現制御機構に関する研究                 |
|        |         | 永岡謙太郎               | 生理機能調節学   | 生体の恒常性維持と破綻に関わる諸因子の総合的理解                          |
|        |         | 小山 哲史 <sup>*3</sup> | 進化生物学     | 多様に分化した動物社会と関連する進化の解明                             |
|        |         | 山本 ゆき               | 動物生理学     | 哺乳動物の生理現象を制御する細胞機能の解明と応用                          |
|        | 機能制御学   | 佐々木一昭               | 獣医臨床薬理学   | 動物における臨床薬物動態学                                     |
|        |         | 鈴木 和彦               | 実験病態病理学   | 線維化とがんの発症機序                                       |
|        |         | 吉田 敏則 <sup>*2</sup> | 実験病理学     | 病態モデル動物を用いた外的因子の生体影響に関する病理学的研究                    |
|        |         | 村上 智亮               | 比較病理学     | 分野横断的アプローチによるアミロイドーシスの病態理解                        |
|        |         | 臼井 達哉               | 獣医病態薬理学   | 病態制御機構の解明と新規治療法の探索                                |
|        |         | 町田 雪乃               | 分子比較腫瘍病理学 | 自然発症動物腫瘍をモデルに、発癌機構の解明とヒトがんへの応用を目指す研究              |
| 獣医衛生科学 | 動物衛生学   | 水谷 哲也 <sup>*2</sup> | 未来疫学      | 未来に出現する未知のウイルスの探索と予測                              |
|        |         | 古谷 哲也 <sup>*2</sup> | 動物感染症学    | 人獣共通病原体を含む、人と動物の病原性ウイルスと原虫寄生虫の感染機構や治療・防御の研究       |
|        |         | 大松 勉                | 動物感染症防疫学  | 家畜および野生動物を対象とした感染症の防疫に関する研究                       |
|        |         | 村越 ふみ               | 寄生虫学      | 寄生虫疾患における感染制御法の開発と分子疫学研究                          |
|        |         | オブライエン 悠木子          | 病原性微生物学   | 哺乳類および鳥類に病原性を示す微生物による疾病の病態機序解明と診断・治療・予防法の開発       |
|        |         | 鈴木 康規 <sup>*3</sup> | 動物衛生学     | 細菌の病理発生機序の解明と新規予防・治療法の開発                          |
|        |         | 大場 真己               | 未来疫学      | 未来に出現する未知のウイルスの探索と予測                              |
|        |         | 竹前 等                | 分子微生物学    | ハイスループットシーケンス技術を用いた新規ウイルスゲノムの探索とそれらウイルスの性状解析      |
|        |         | (新井 智)              | 感染症発展疫学   | 感染症の発生メカニズムの理解や、新たな知見の創出を目指す研究                    |
|        |         | (案浦 健)              | 熱帯医学・寄生虫学 | マラリアなど熱帯地域の寄生虫疾患に関する、新規薬剤・ワクチン開発・フィールド調査・分子生物学の研究 |
|        | 獣医公衆衛生学 | 石原加奈子               | 衛生微生物学    | 病原性細菌および薬剤耐性菌の感染制御に関する研究                          |
|        |         | (岡田由美子)             | 食品微生物学    | 食中毒細菌の性状解析及び試験法に関する研究                             |
|        |         | (永田 典代)             | 感染病理病態学   | 感染動物モデルを用いた新興・再興感染症ウイルスの感染病理と病態解明に関する研究           |
|        |         | (渡辺麻衣子)             | 真菌学       | 環境や食品に分布するカビ・酵母の分類、有益性や有害性に関する研究                  |

|         |          |         |             |   |
|---------|----------|---------|-------------|---|
| 獣医臨床医科学 | 産業動物臨床医学 | 田中 知己   | 家畜不妊症防除学    | 家畜の繁殖障害の病態解明と新しい診断・治療・予防法の開発                          |
|         |          | 遠藤なつ美   | 獣医臨床繁殖学     | 牛やヤギにおける繁殖障害の治療と防除法の開発                                |
|         |          | (黒田 泰輔) | 馬臨床内科学      | 馬の感染症、アレルギー疾患に対する薬物治療法の検討                             |
| 獣医臨床医科学 | 伴侶動物臨床医学 | 西藤 公司   | 獣医皮膚科学      | 哺乳動物に発症する皮膚疾患の病態・診断・治療に関する研究                          |
|         |          | 田中 綾    | 実験外科学       | 循環器疾患の病態評価、治療法の検討                                     |
|         |          | 清水 美希   | 小動物外科学      | 小動物整形外科に対する画像診断法の開発                                   |
|         |          | 岸本 海織   | 獣医臨床放射線学    | 放射線を利用した臨床診断および従事者の放射線防護                              |
|         |          | 井手 香織   | 小動物内科学      | 伴侶動物(犬・猫)の主に消化器系と造血器系疾患を対象に、病態解析から診断法や治療法の開発を目指す      |
|         |          | 島田香寿美   | 獣医外科学       | 伴侶動物臨床医学、獣医外科学、人工材料による心血管デバイスの開発や循環器疾患に対する新規診断・治療法の確立 |
|         |          | 片山 泰章   | 伴侶動物機能再建外科学 | 犬猫における腎泌尿器および整形外科における新規治療法の開発                         |
|         |          | 大森啓太郎   | 獣医臨床免疫学     | 伴侶動物に発生する免疫介在性疾患の病態、診断、治療に関する研究                       |
|         |          | 皆上 大吾   | 獣医臨床腫瘍学     | 伴侶動物における腫瘍細胞の増殖メカニズムの解明および新規治療法の開発                    |
|         |          | 濱部 理奈   | 獣医臨床腫瘍学     | 伴侶動物における腫瘍疾患と心血管疾患の相互関係の検討                            |

※1 2028年3月31日定年退職予定

※2 2030年3月31日定年退職予定

※3 2026年10月入学生のみ募集

( )は連携機関教員

Guidelines for Applicants for October 2026 and April 2027 Admission  
General selection  
Special selection for foreign students

Cooperative Division of Veterinary Sciences (Doctoral Program)  
Graduate School of Agriculture

Tokyo University of Agriculture and Technology

## Admission Policy

### 1. Purpose for human resource development

The purpose of the Cooperative Division of Veterinary Sciences (Doctoral Program) is to further deepen the philosophy set forth in the Cooperative Department of Veterinary Medicine, has innovative ideas based on veterinary medicine, and fosters research leaders leading the field of basic animal medicine, veterinary hygiene science and veterinary clinical science.

### 2. Qualifications for applicants

( i ) Knowledge, skills, understanding

- Those who have sufficient basic academic ability and skills in majoring veterinary medicine and animal science

( ii ) Thinking power, judgment power, expressive power

- Those who have English skills and communication skills necessary for research activities

( iii ) Interest / Motivation

- Persons who have a willingness and inquiring mind to work on research issues positively
- A person with deep interest in research ethics and veterinary ethics

( iv ) Initiative and collaboration

- A person full of execution power who develops creative research with a broad view

### 3. Contents that you are expected to learn before admission

To acquire basic knowledge on veterinary medicine in order to engage in specialized academic research at graduate school.

## 1. Quota

| Department                                  | Category                               | Capacity for admission  |
|---|--|---|
| Cooperative Division of Veterinary Sciences | General selection                      | 10  |
|   | Special selection for foreign students | (including a few students admitted with special selection for foreign students) |

## 2. Application Qualifications

Applicants must meet one of the following qualifications:

Note: **Special selection for foreign students is available for non-Japanese applicants who live outside Japan and are qualified (or expected to be qualified) to enter graduate school in Japan by the Immigration Control and Refugee Recognition Act. Foreign applicants living in Japan are subject to general selection**

- i ) Have graduated from a six-year veterinary course at university; or are expected to graduate from such a course by the month of admission.

- ii) Have graduated from a medical, dental, or six-year pharmaceutical course at university; or are expected to graduate from such a course by the month of admission.
- iii) Have completed 18 years of school education (limited to a final program in veterinary medicine, medicine, dentistry, or pharmaceutical sciences) overseas; or are expected to complete such a program by the month of admission.
- iv) Have completed 18 years of overseas school education (limited to a final program in veterinary medicine, medicine, dentistry, or pharmaceutical sciences) by taking a correspondence course offered in Japan by an overseas school; or are expected to complete such a program by the month of admission.
- v) Have completed a curriculum in an educational institution in Japan with curricula of an overseas university (only if completion of such curricula (limited to a final program in veterinary medicine, medicine, dentistry, or pharmaceutical sciences) corresponds to completion of 18 years of school education in the pertinent country), which is regarded as an institution in line with the pertinent country's education system and is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan; or are expected to complete such a curriculum by the month of admission.
- vi) Have been conferred, or expected to be conferred by the month of admission, a degree equivalent to a bachelor's degree through attending an overseas university or other overseas school (limited to those whose education and research activities have been evaluated by persons who have been certified by the relevant country's government or a related institution, or which have been separately designated by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology as being equivalent to such) and have graduated from a veterinary, medical, dental or pharmaceutical program that requires five or more years to complete (including graduating from such a program in Japan through distance learning offered by the relevant overseas school, as well as graduating from such a program at an educational institution which is regarded as an institution in line with the pertinent country's education system and is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan).  
 ※ Those who fall under the Application Qualifications (vi) should contact the Admissions Section Fuchu Student Support Office by Monday, June 15.
- vii) Are designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Japan.
- viii) Are enrolled in a graduate program of another university under the provisions of Paragraph 2, Article 102 of the School Education Act and are deemed by the Cooperative Department of Veterinary Sciences (Doctoral Program) to possess academic abilities required to follow a graduate program at the Graduate School, TUAT.
- ix) Are recognized by the Cooperative Division of Veterinary Sciences (Doctoral Program) on the basis of individual qualification screening that they have scholastic abilities equivalent to or higher than those of university (a medical, dental, or six-year veterinary or pharmaceutical course) graduates, and are 24 years old or above.

### 3. Application Procedure

#### (1) Application method

Applicants are required to submit application documents shown in (4) by mail or hand delivery. When you send them by mail, make sure to use simple registered mail and indicate in red ink on the envelope that the veterinary division application form is enclosed. If you live outside Japan, make sure to use Express Mail Service.

(2) Place of submission

Admissions Section, Fuchu Student Support Office

3-5-8 Saiwai-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8509

Phone: 042-367-5659

(3) Application period

i) General selection

Hand delivery acceptance period: Wednesday, July 22, 2026 to Friday, July 24, 2026

Acceptance time: July 22 and 23 : 10 : 00-12 : 00, 13 : 30-16 : 00

July 24 : 10 : 00-12 : 00, 13 : 30-15 : 00

Mail acceptance period: Monday, July 6, 2026 to Friday, July 24, 2026 (due no later than 3 o'clock in the afternoon.)

※Regarding application documents arriving at university after the application period, we only accept postal mail with Japan Post Office postmark before Wednesday, July 22, 2026 in “simplified registration” (kan-i-kakitome) , registered mail.

ii) Special selection for foreign students

Mail acceptance period: Monday, July 6, 2026 to Friday, July 24, 2026 (due no later than 3 o'clock in the afternoon.)

(4) Application documents

| Documents  | Who should submit | Notes  |
|--|-------------------|--|
| Admission Application Form                         | All               | Use a form designated by TUAT.   |
| Photograph Voucher; Examination Voucher            | All               | Affix your photograph (upper body, bare head, 4.5cm × 3.5cm, within three months from the date of shooting) on the designated voucher. Fill in inside the bold frames. Please note that altering a person's image through image processing or editing, such as making eyes appear larger, whitening skin, or correcting facial features, moles, or wrinkles, is inappropriate under any circumstances.   |
| Entrance Examination Fee Payment Confirmation Slip | All               | Pay the examination fee of 30,000 yen: Pay the fee at the post office or Japan Post Bank using the Entrance Examination Fee Payment Form provided (ATM not permitted), and affix the date-stamped Postal Money Transfer Certificate (for submission to University) on the Entrance Examination Fee Payment Confirmation Slip.<br>Those who advance to our Department after having completed the TUAT master's course or professional degree course do not need to pay this fee. Foreign students with Japanese government scholarships also don't have to pay the fee; they are required to attach a copy of the Certificate of Government-Financed International Students. (TUAT current students do not need to submit.) |
| Academic transcript                                | All               | A sealed transcript issued by the last school you have completed. A transcript issued through an automatic machine does not have to be sealed.<br><u>Applicants who have completed (or are expected to complete) a graduate school course should also submit an academic transcript from undergraduate and graduate school.</u> If the transcript is written in a foreign language (except English), please attach the Japanese or English version.<br>* Those applying for the special selection for foreign students must submit a transcript containing GPA. However, this doesn't apply to the case where your school doesn't calculate GPA.   |

|   |  |  |
|---|--|--|
| Certificate of (expected) graduation                    | All  | Use a form designated by your school.<br><u>Applicants who have completed (or are expected to complete) a graduate school course are required to also submit a certificate of (expected) graduation from undergraduate and graduate school.</u> If the certificate is written in a foreign language (except English), please attach the Japanese or English version.   |
| Resume/CV   | All  | Use a form designated by TUAT.   |
| Overview of graduation or master thesis                 | All  | Summarize your thesis in about 2,000 letters (Japanese) or 1,200 words (English) using A-4 size paper, and attach the cover sheet. Those who do not need to write a graduation thesis should submit a report on their research at work, etc. If you cannot submit either of these documents, you must describe why you apply for our Division in less than 1,000 letters (Japanese) or 600 words (English).<br>* Those applying for the special selection for foreign students must write in English. When describing the reason why you apply for our Division, summarize it in less than 1,000 words.  |
| Research plan   | All  | Describe what research you want to do in our Division in about 1,000 letters (Japanese) or 500 words (English) using a form designated by TUAT.<br>* Those applying for the special selection for foreign students must write it in English in less than 1,000 words.  |
| Research history certificate                            | Those applying for the special selection for foreign students  | Use a form designated by TUAT.<br>* Those subject to individual application qualification screening have to submit just one copy of this certificate.  |
| Research achievement list                               | Those applying for the special selection for foreign students  | Summarize your research achievements (including purpose, material and method, result, conclusion) in about 1,000 words (English) using A-4 size paper, and attach the cover sheet. If your research achievements are limited to the graduation or master thesis, you don't have to submit this list.<br>* Those subject to individual application qualification screening have to submit just one copy of this list.   |
| Recommendation letter                                   | Those applying for the special selection for foreign students  | A sealed letter prepared basically in English by your supervising teacher. If not in English, the English version should be attached.  |
| Examination permission form                             | Those working  | Submit an examination permission form obtained from your immediate manager or an organization representative.  |
| Score sheet/certificate/report of TOEIC, TOEFL or EIKEN | Among those applying for the general selection, those who would like exemption from foreign language tests | Those who would like exemption from the foreign language test (see "5. Selection, (1) General selection" for exemption requirements) must submit a certificate of the language test you took within two years from the date of the entrance exam.<br>* For TOEIC, please submit the original (paper) certificate or a printed copy of the Digital Official Score Certificate.<br>* If you do not plan to submit a paper score report for the TOEFL iBT, please select code G262 when applying for the test. Our university will verify your scores through the ETS online system. Please note that if we are unable to verify your scores by 3 : 00 PM on July 24 (the application deadline), your application will not be accepted. |
| The others  | All  | i) Foreign applicants should submit a photocopy of passport and copy of their residence card. (only domestic resident.)<br>ii) If the name on the certificate is different from the current name, please submit a proof of the name change (family register abstract, etc.).   |
| Recipient Address Label                                 | Those applying for the general selection   | Use a form designated by TUAT.   |
| Examination Voucher return envelope                     | Those applying for the general selection (by mail)   | Enclose a self-addressed standard envelope (12cm × 23.5cm) affixed with stamps worth 410 yen.  |

\* If the certificate is written in a foreign language (except English), please attach the Japanese or English version.

(5) Research field and supervising teacher

Refer to pages 21 to 22, you should gain approval for application from your preferred supervising teacher.

Refer to the TUAT website for more information on research field and contact information for supervising teacher.

- Graduate School of Agriculture: [https://www.tuat.ac.jp/departement/graduate\\_school/nougakuhu/](https://www.tuat.ac.jp/departement/graduate_school/nougakuhu/)
- Researcher Profiles: <https://www.tuat.ac.jp/research/researcher/>

(6) Notes on application documents

- After the receipt of your application documents, we will not permit any change in entries in these documents. Application documents will not be returned.
- Incomplete application documents will not be accepted.
- You should gain approval for application from your preferred supervising teacher.
- If your address changes after application, contact us immediately.
- False entries in application documents may result in the cancellation of admission.
- The entrance examination fee once paid is not refundable.

#### 4. Individual Application Qualification Screening

Those who apply under the application qualifications (viii) and (ix) must go through a prior screening as follows:

(1) Screening method

Screening of documents submitted. Interviews may be held as necessary.

(2) Documents to be submitted

| Documents                               | Notes   |
|---|---|
| Application for Qualification Screening | Use a form designated by TUAT.  |
| Academic transcript                     | A sealed transcript issued by the last school you have completed. A transcript issued through an automatic machine does not have to be sealed.<br>Applicants who have completed (or are expected to complete) a graduate school course should also submit an academic transcript from undergraduate and graduate school. If the transcript is written in a foreign language (except English), please attach the Japanese or English version.  |
| Resume/CV                               | Use a form designated by TUAT.  |
| Research plan                           | Describe what research you want to do in our Division in about 1,000 letters (Japanese) or 500 words (English) using a form designated by TUAT.<br>* Those applying for the special selection for foreign students must write it in English in less than 1,000 words.   |
| Research history certificate            | Use a form designated by TUAT.  |
| Research achievement list               | Summarize your research achievements (including purpose, material and method, result, conclusion) in about 1,000 letters (Japanese) or 600 words (English) using A-4 size paper, and attach the cover sheet. If you cannot submit this document, you must describe why you apply for our Department in less than 1,000 letters (Japanese) or 600 words (English).<br>* Those applying for the special selection for foreign students must write it in English in less than 1,000 words. |

|                       |  |
|-----------------------|--|
| Research deliverables | Provide research papers and materials that support the content of the research achievement list. |
| Return envelope       | Enclose a self-addressed standard envelope (12cm × 23.5cm) affixed with stamps worth 410 yen     |

\* If the certificate is written in a foreign language (except English), please attach the Japanese or English version.

(3) Submission period and place of submission

i ) Submission period

Hand delivery acceptance period: Wednesday, June 17, 2026 to Wednesday, June 24, 2026 (due no later than 3 o'clock in the afternoon.)

Mail acceptance period: Wednesday, June 17, 2026 to Wednesday, June 24, 2026 (due no later than 3 o'clock in the afternoon.)

ii ) Place of submission

Admissions Section, Fuchu Student Support Office

3-5-8 Saiwai-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8509

Phone: 042-367-5659

\* When you send them by mail, make sure to use simple registered mail and indicate in red ink on the envelope that the veterinary division qualification screening application form is enclosed.

\* If you live outside Japan, make sure to use Express Mail Service.

It is not necessary to submit a return envelope.

(4) Notice of results

You will receive the results of the screening before Friday, July 10, 2026.

Those qualified to apply should submit the copy of the qualification notice and application documents during the application period.

## 5. Selection

### I. General selection

(1) Applicants will be assessed comprehensively based on the results of the academic achievement test and screening of documents.

(2) Academic achievement test

i ) Written test

● Foreign language: English

Those who meet any of the following requirements are exempted from the foreign language test.

If you wish to be exempted from the foreign language test, submit a document proving that fact (see “3. Application Procedure, (4) Application documents”).

- TOEIC Listening & Reading Test (Secure Program Test): 800+

- TOEFL iBT: 90+(My Best score is available)

- EIKEN: Grade 1

Note: Regarding TOEIC Listening & Reading Test and TOEFL iBT, the test-taking date should be within two years from the date of the entrance exam.

Note: TOEFL iBT Home Edition and TOEFL iBT Special Home Edition score sheet cannot be submitted.

- Specialized subject in the education/research field you have applied for

ii) Interview examination test

Focused on the contents of your graduation or master thesis, research plan, etc. About 30 minutes per person. Explain about your graduation or master thesis, research plan, etc. during the first 10 minutes. Then the Q&A session follows.

\* Give a presentation using a liquid-crystal projector. (You can bring your own PC.)

(3) Test date, time and location

| Date                      | Subject                    |                     | Time            | Location              |
|---------------------------|----------------------------|---------------------|-----------------|-----------------------|
| Thursday, August 27, 2026 | Written test               | Foreign language    | 9 : 30–11 : 00  | Fuchu Campus,<br>TUAT |
|                           |                            | Specialized subject | 11 : 30–12 : 30 |                       |
|                           | Interview examination test |                     | 13 : 30–        |                       |

\* Late arrivals (within 30 minutes of the timetabled start) may be admitted to the examination room, but will not be allowed any additional time at the end of the exam, except for the interview examination test.

## II. Special selection for foreign students

(1) Applicants will be assessed comprehensively based on the results of the academic achievement test and screening of documents. Only those who pass the screening of documents can take the academic achievement test.

(2) Content, date and time of the test

i) Screening of documents

Application documents you provide will be screened. The result will be noticed to you by Thursday, August 6, 2026. Those who pass the screening will receive an Examination Voucher and the date and time of the academic achievement test (interview examination test).

ii) Academic achievement test (interview examination test)

This interview examination test will be conducted by connecting your home, university or workplace and TUAT using Skype, etc. The conversation will be in Japanese or English, and the duration will be about 30 minutes.

During the first 20 minutes, you should explain the overview of your previous research experience and your future research plan, using a presentation tool such as PowerPoint. Then the Q&A session will follow.

The test will be held on a date during the following period (except Saturday and Sunday): Monday, August 17, 2026 to Friday, August 21, 2026. A specific date and time will be sent to you along with an Examination Voucher.

## 6. Notification of Admission

Successful applicants will be listed on TUAT's homepage for three days at 10 a.m. on Friday, September 11, 2026. ([https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_daigakuin/goukaku\\_daigakuin/](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/goukaku_daigakuin/)) They will also receive a written notification of admission by mail.

We will not respond to your inquiry regarding the test result.

## 7. Enrollment Procedure

(1) Date and time of the procedure

Admission to October 2026 : Thursday, September 17, 2026

Admission to April 2027 : Monday, March 15, 2027

Details of the procedure will be sent to successful applicants by mail.

Admission to October 2026 : Around early September

Admission to April 2027 : Around late of January

(2) Fees required

Enrollment fee: 282,000 yen

\* The following people do not need to pay the enrollment fee.

- Those who advance to our Department after having completed the TUAT master's course or professional degree course.
- Foreign students receiving Japanese government scholarships.

Tuition fee: 642,960 yen annually

\* The following people do not need to pay the tuition fee.

- Foreign students receiving Japanese government scholarships.

Note: If the above fees are revised at the time of your admission or during your academic year, the new fees will be applied from the time of revision.

## 8. Handling of Personal Information

Your name, gender, address and other personal information (including information on examination results) provided in application documents will be used for the conduct of the entrance examination, enrollment procedure, acceptance of new enrollees, management of scholarships and other systems, preparation of statistics, and research on the entrance examination.

If any of the following is deemed to apply, your personal information may be provided only when there is no danger of your rights or interests or those of any third party being infringed.

- (1) You agree on the provision of your personal information or it is provided to you.
- (2) In the case it is provided to an administrative organization (which is set forth in Article 2, paragraph 1 of the Act on the Protection of Personal Information Held by Administrative Organization), another incorporated administrative agency, local public entity, or local incorporated administrative agency, the person who receives the information uses it only to the extent necessary for executing the affairs or business under its jurisdiction provided by laws and regulations, and there is a reasonable ground for such use of the information.
- (3) Personal information is provided to another institution exclusively for statistical purposes or academic research purposes.
- (4) Personal information needs to be provided when TUAT outsources the electronic processing of personal information to execute its business. (In this case, the outsourcing contract contains an item regarding the protection and management of personal information based on the Personal Information Protection Act.)

## 9. Advance Consultation for Applicants with Physical Disabilities

Applicants with physical disabilities or illnesses who need special considerations for taking the examination or studying are advised to submit the designated form “Regarding Advance Consultation.”

As necessary, interviews will be conducted at TUAT with the applicants or those from their previous schools who can speak for them.

### (1) Place of submission

Admissions Section, Fuchu Student Support Office

3-5-8 Saiwai-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8509

Phone: 042-367-5659

### (2) Acceptance period

Monday, July 6, 2026 to Friday, July 10, 2026 (due no later than this date)

## 10. Security Export Control

Based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act issued by Japanese Government, Tokyo University of Agriculture and Technology has established “Tokyo University of Agriculture and Technology Security Export Control” to conduct strict screening of accepting international students.

Students subject to such regulation may not be able to pursue their desired course of education or research.

## 11. Extended Enrollment System

The Cooperative Division of Veterinary Sciences (Doctoral Program) offers an option for students with special circumstances (see Note 1) to complete their course of study within eight years in a specially planned and approved manner, rather than the standard four years. Those requesting this option will be screened for qualification.

The total tuition fees for Extended Enrollment is the same as for the standard program of four years.

Applications that have been admitted will be notified of the application method for Extended Enrollment.

Note 1) Eligibility: i Working students (Part-time employees must work 30 or more hours a week)  
ii Others who are deemed eligible by the President.

(Please contact Admissions Section, Fuchu Student Support Office.)

Note 2) In general, there is no special curriculum provided for Extended Enrollment students.

## 12. Disclosure of examination questions

Examination questions for the past three years are available. Refer to the TUAT website ([https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_daigakuin/seikyu/nougakuhu.html](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/seikyu/nougakuhu.html)) for details. The Cooperative Division of Veterinary Sciences (Doctoral Program) offers an option for students.

## 13. For inquiries regarding information disclosure of admission selection

Contact the Admissions Section, Fuchu Student Support Office for more information on admission selection.

## 14. Contact

Admissions Section, Fuchu Student Support Office  
 3-5-8 Saiwai-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8509  
 Phone: 042-367-5659  
 9 a.m. to 5 p.m. (except Saturdays, Sundays and holidays)

## 15. Access

JR Chuo Line:

10-minute bus ride from the south exit of Kokubunji station; bus stop No.2 for Fuchu station; get off at Harumi-cho.

Keio Line:

7-minute bus ride from Fuchu station; bus stop No.3 for Kokubunji station south exit; get off at Harumi-cho.

JR Musashino Line:

12-minute walk from Kita Fuchu station



### Faculty Member and Research Field

| Major Track                | Research Field             | Advisor                         | Subject of Study  | Outline of Research   |
|----------------------------|----------------------------|---------------------------------|---|---|
| Basic Animal Medicine      | Anatomy and Physiology     | SATOH Toshiyuki <sup>*1</sup>   | Behavioral Biology  | Studies on adaptive significance and mechanisms of animal behavior  |
|                            |                            | KANEDA Masahiro                 | Epigenome Biology   | Epigenetic regulation of mammalian gene expression mechanisms   |
|                            |                            | NAGAOKA Kentaro                 | Physiological Control                                       | Comprehensive studies on physiological control for maintaining homeostasis and its disruption   |
|                            |                            | KOYAMA Satoshi <sup>*3</sup>    | Evolutionary Biology  | Evolution related to forms of animal society  |
|                            |                            | YAMAMOTO Yuki                   | Animal physiology   | Elucidation and application of cellular functions that regulate physiological phenomena in mammals  |
|                            | Pharmacology and Pathology | SASAKI Kazuaki                  | Veterinary Clinical Pharmacology                            | Clinical pharmacokinetics in veterinary medicine  |
|                            |                            | SUZUKI Kazuhiko                 | Experimental and Toxicologic Pathology                      | Pathogenesis of fibrosis and tumor  |
|                            |                            | YOSHIDA Toshinori <sup>*2</sup> | Experimental Pathology                                      | Pathobiological effects of exogenous factors on animal disease models   |
|                            |                            | MURAKAMI Tomoaki                | Comparative Pathology                                       | Understanding the pathogenesis of amyloidosis by cross-disciplinary approaches  |
|                            |                            | USUI Tatsuya                    | Veterinary Pathophysiology and Pharmacology                 | Elucidation of mechanism of pathogenesis and exploring the novel therapy  |
|                            |                            | MACHIDA Yukino                  | Molecular Comparative Oncologic Pathology                   | Research aimed at elucidating the mechanisms of carcinogenesis using spontaneously occurring animal tumors as models, with the goal of translating findings to human cancer |
| Veterinary Hygiene Science | Animal Hygiene             | MIZUTANI Tetsuya <sup>*2</sup>  | Epidemiology and Prevention Research of Infectious Diseases | Explore and Prediction of unknown viruses in future   |
|                            |                            | FURUYA Tetsuya <sup>*2</sup>    | Veterinary Infectious Diseases                              | Pathogenicity, treatment and prevention of human and animal viruses and protozoan parasites including zoonotic pathogens  |
|                            |                            | OMATSU Tsutomu                  | Epidemiology of Infectious Diseases on Animals              | Epidemiology of infectious diseases of livestock animals and wild animals   |
|                            |                            | MURAKOSHI Fumi                  | Veterinary parasitology                                     | Development of infection control methods and molecular epidemiology studies in parasitic disease  |
|                            |                            | O'Brien Yukiko                  | Pathogenic Microbiology                                     | Pathogenesis, diagnoses, treatment and prophylaxis of microorganisms that affect mammals and birds.   |
|                            |                            | SUZUKI Yasunori <sup>*3</sup>   | Veterinary Hygiene  | Research on mechanisms of bacterial pathogenesis and development of novel preventive and therapeutic methods  |
|                            |                            | OBA Mami                        | Epidemiology and Prevention Research of Infectious Diseases | Explore and Prediction of unknown viruses in future   |
|                            |                            | TAKEMAE Hitoshi                 | Molecular Microbiology                                      | Discovery of novel viral genomes using high-throughput sequencing technology and characterization of these viruses  |
|                            |                            | (ARAI Satoru)                   | Advanced Epidemiology of Infectious Diseases                | Mainly focuses on genomic and spatiotemporal epidemiology of infectious diseases, as well as coevolution and vaccinology  |
|                            |                            | (ANNOURA Takeshi)               | Tropical Medicine and Parasitology                          | Molecular cellular parasitology, drug and vaccine development, malaria field study  |
|                            | Veterinary Public Health   | ISHIHARA Kanako                 | Applied Microbiology  | Study for control of pathogenic and antimicrobial-resistant bacteria  |
|                            |                            | (OKADA Yumiko)                  | Food Microbiology   | Study of characteristics of foodborne pathogens and their detection methods   |
|                            |                            | (NAGATA Noriyo)                 | Pathogenesis of Viral Infectious Diseases                   | Research into the pathogenesis of emerging and re-emerging viral infectious diseases using animal models  |
|                            |                            | (WATANABE Maiko)                | Mycology  | Studies on systematics and useful/harmful activities of molds and yeasts distributed in the environment and foods   |

|                             |                           |                  |  |   |
|-----------------------------|---------------------------|------------------|--|---|
| Veterinary Clinical Science | Farm Animal Medicine      | TANAKA Tomomi    | Reproductive Disorders and its Therapy           | Elucidation of the pathogenesis of reproductive disorders and development of new diagnostic, therapeutic and preventive methods in domestic animals |
|                             |                           | ENDO Natsumi     | Veterinary Clinical Reproduction                 | Development of treatment and prevention of reproductive disorders in cows and goats   |
|                             |                           | (KURODA Taisuke) | Equine clinical internal medicine                | Medical therapy for infectious and allergic disease in horses   |
| Veterinary Clinical Science | Companion Animal Medicine | NISHIFUJI Koji   | Veterinary Dermatology                           | Investigation on pathophysiology, diagnosis and therapy of the skin diseases in mammals   |
|                             |                           | TANAKA Ryou      | Experimental Surgery                             | Evaluate pathological condition and confirm the effectiveness of the treatment in cardiac disease   |
|                             |                           | SHIMIZU Miki     | Surgery for Small Animals                        | Development of diagnostic imaging method of orthopedic surgery for small animals  |
|                             |                           | KISHIMOTO Miori  | Veterinary Clinical Radiology                    | Radiological diagnosis for clinical patients, and personnel radiation protection  |
|                             |                           | IDE Kaori        | Small Animal Internal Medicine                   | From pathophysiological analysis to development of diagnostic and therapeutic tools: gastroenterology and hematology in dogs and cats               |
|                             |                           | SHIMADA Kazumi   | Veterinary surgery                               | Development of cardiovascular devices using artificial materials and novel diagnostic and therapeutic methods for cardiovascular diseases           |
|                             |                           | KATAYAMA Masaaki | Companion animal function reconstructive surgery | Development of new treatments in small animal nephrology and orthopedics  |
|                             |                           | OHMORI Keitaro   | Veterinary Clinical Immunology                   | Clinical and basic research on pathogenesis, diagnosis, and treatment of immune-mediated diseases in companion animals                              |
|                             |                           | AZAKAMI Daigo    | Veterinary Clinical Oncology                     | Analysis of tumor cell growth mechanisms and development of novel treatment in companion animals  |
|                             |                           | HAMABE Lina      | Veterinary Clinical Oncology                     | Investigation of the interrelationship between oncological disorders and cardiovascular disorders in companion animals                              |

※1 Faculty members scheduled to retire on March 31, 2028.

※2 Faculty members scheduled to retire on March 31, 2030.

※3 Applications are accepted only for students entering in October 2026

(Faculty of collaborating organization)